



いばらきの味覚

笠間いなり寿司

笠間市は、日本三大稲荷の一つといわれる「笠間稲荷神社」の門前町として栄えており、その稲荷神社にちなんで「いなり寿司」は、古くから市民や参詣客に親しまれてきました。「笠間いなり寿司」の特徴は「そば」「くるみ」「舞茸」など様々な素材を使った“変り種いなり寿司”という点です。

主な内容

- ▼ 理事会を開催
- ▼ 各支部が定時総会開く
- ▼ 5～6月の建設業経営者研修会日程

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

29年度決算、新規入会などを承認

理事会を開催



岡部会長

本会は5月8日、水戸市の県建設技術研修センターで理事会を開催し、平成29年度の事業報告および収支決算、公益目的支出計画の実施報告、定時総会の日程など5議案について承認しました。

冒頭のあいさつで岡部会長は「技能労働者が減少する時代に直面しており、将来を担う若年層の入職と定着、次世代への技術や技能の継承などを推進していかなければならない状況にある」とし、地域インフラの整備・維持管理を担う地域の守り手として、働き方改革や生産性向上などが不可欠であると強調しました。

また「今後とも会員企業の経営力向上を図り、公共事業費の持続的かつ安定的な確保・拡大、受注機会の確保に向け、関係機関に強く要望してまいります」と話しました。

なお、定時総会は5月23日（水）午前11時から県建設技術研修センターで開催します。当日は午前10時30分から表彰式も挙ります。



29年度事業報告などを承認しました

各支部が定時総会

30年度事業計画を決定

本会各支部の平成30年度定時総会が4月下旬から順次開催され、本年度の事業計画などを決定。各支部長が抱負を披露しました。高萩支部では秋山光伯さんが新支部長に選出されました。

水戸支部

支部長 尾曾 正人 (東洋工業(株))
副支部長 荒川 芳和 (水戸土建工業(株))
下田 徳行 (菅原建設(株))
関根 慎一 (株関根工務店)
田口 誠壽 (株田口工務店)
内藤 裕二 (株内藤工務店)



支部長の抱負

業界は今、厳しい状況にある。これ乗り越えるには支部員が一致団結し、同じ方向を見て前進していくことが必要。支部員および支部のため、一生懸命頑張っている

鉾田支部

支部長 羽生 義隆 (株羽生工務店)
副支部長 伊東 久夫 (株伊東建設)
中野 久 (株中野建設)
高橋 修一 (高橋建設(株))



支部長の抱負

支部員の皆様と一致団結し、建設業界を盛り上げ魅力ある建設業としていくために、4週8休など諸施策を実施し、雇用の安定を図り、人材の育成、技術の向上に努めていきたい

大子支部

支部長 大藤 博文 (株大藤組)
副支部長 椎名 義正 (株椎名工務店)
益子 勇 (有)大沢工務店)



支部長の抱負

小さな支部ではあるが、一致団結して運営していきたい。地域の安全安心を守るため、県大子工務所とともに的確な安全対策を構築していく

竜ヶ崎支部

支部長 細谷 武史 (大昭建設(株))
副支部長 松浦 一久 (松浦建設(株))
熱田 勝義 (平山建設(株))
佐々木孝夫 (常磐建設(株))



支部長の抱負

地域の主要産業として雇用を確保し、若者の入職促進や技術・技能の伝承を図るなど地域社会に貢献する力強い地場産業として、その役割を果たしていく

高萩支部

支部長 秋山 光伯 (株秋山工務店)
副支部長 鈴木 一良 (鈴縫工業(株))
佐藤 利雄 (日興建設(株))
長谷川 宏 (株長谷川工務店)



支部長の抱負

微力ではあるが、新支部長として頑張っている。円滑な支部運営ができるよう、支部員の皆さま方のご協力を切にお願い申し上げます

筑西支部

支部長 柴 勝 (株柴建設)
副支部長 滝田 富祐 (瀧田建設(株))
小葉 拓巳 (株小葉建設)



支部長の抱負

皆様のお力を借りながら支部運営を進め、さらなる融和を深めるよう努力していく

常
総
支
部

支 部 長 中川原 勇 (石塚産業株)
副支部長 山本 宗一 (株下妻建設)
岡野 雅男 (正栄工業株)
染谷 正美 (染谷建設株)



支部長の抱負

入職者の確保と育成や生産性向上など取り組むべき課題が多い。意思疎通を図りながら、公平公正に一致団結して支部運営を行っていききたい

境
支
部

支 部 長 新井 孝 (株新井建設工業)
副支部長 小沢 勲 (小沢道路株)
野口 恵夫 (株野口組)
高橋 正 (株高橋芝園土木)
菊地 和幸 (株五霞建設)



支部長の抱負

皆さまの意見を拝聴しながら事業に取り組む。業界では若年層の担い手が少ない。働き方改革などに対応するため支部でも講習会などを開き、ICTやBCPなども情報を発信していきたい

県の土木・建築 3,000 万以上 4,000 万未満
A ランク業者に限定

発注標準額
を見直し

S 及び A ランクの双方を対象としていた土木一式工事及び建築一式工事の発注標準金額【3,000 万円以上 2 億円未満】が分割され、A ランクを対象とする新たな発注標準金額帯【3,000 万円以上 4,000 万円未満】が設定されました。

【見直し前】	1000万円	3000万円	4000万円	2億円
Cランク 766者	Bランク 621者	S・Aランク 502者(S:97者+A:405者)		Sランク 97者
↓				
Cランク	Bランク	Aランク	S・Aランク	Sランク

茨城県は、建設工事の発注標準額を見直しました。S および A ランクの双方を対象としていた土木一式工事および建築一式工事の発注標準金額「3000 万円以上 2 億円未満」を分割し、A ランクのみを対象とする新たな発注標準金額帯「3000 万円以上 4000 万円未満」を設定しました。

県では、建設工事の種類ごとに建設業者の規模や能力に応じた格付を行っており、格付に応じた

発注金額帯の区分を定めています。

今回は、S ランク業者が増加傾向にあることを踏まえ、格付ごとの適正な競争環境の確保と地域の中核業者のさらなる育成・確保を図るため、発注標準額の見直しを行うことにしました。

なお、見直し前の S・A ランクの業者数は 502 者で、このうち S が 97 者、A が 405 者となっています。

建設業合同企業説明会を開催

県建設産業担い手確保・育成ネットワーク協議会



2会場に約100人が訪れました

県建設産業担い手確保・育成ネットワーク協議会（事業管理者＝本会）主催による建設業合同企業説明会が、4月11日（水戸市）と12日（土浦市）に開催されました。平成31年3月卒業予定の大学生や専門学校生など合計約100人が来場。企業説明を受けた学生からは「具体的な仕事内容を聞くことができ、とても参考になりました」といった感想が寄せられるなど、建設業の未来を担う学生たちへの格好のPRの場となりました。

この説明会は建設業における担い手の確保・若年者の入職促進の取り組みの一環として、昨年7月に初めて開催されました。

本年は水戸市（県水戸合同庁舎）と土浦市（県県南生涯学習センター）の2会場での4月開催となり、県内の建設企業延べ44社が参加。2日間で来年3月卒業予定の大学生や専門学校生、一般求職者など約100人が各社のブースを訪問しました。

企業の担当者は、ノートパソコンやタブレット、資料を用い、後世に残る公共事業や自然災害からの復旧工事など、自社の仕事の内容や建設業



参加企業が学生たちに業務内容を説明しました

の魅力を中心に説明。学生たちは担当者へ福利厚生や給与面などについて質問していました。

文化デザイナー学院3年生の林静香さんは「将来は現場監督になることも視野に入れています。地元に残って仕事をしたいので、建設業の具体的な内容を知ることができてとても勉強になりました」と話していました。

筑波研究学園専門学校2年生の尾花悠人さんは「今の学校に入学して道路の仕事に興味を持ちました。進路は道路の仕事ができることを考えています」と建設業界への就職を希望していました。

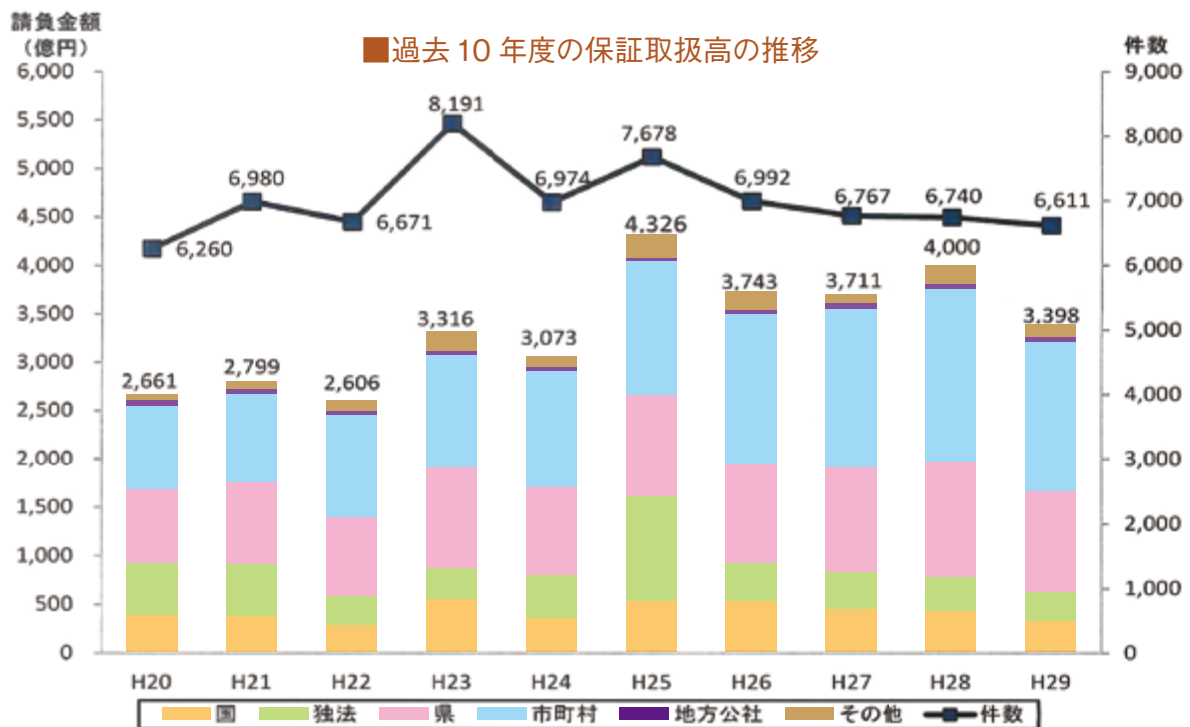
前年度比15.1%減、3398億円

茨城県内の29年度公共工事保証実績

■ 累計 (平成29年4月～30年3月)

(金額単位：百万円)

発注者	項目	29年度		28年度		対前年度増減率	
		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国		269	32,137	345	42,828	-22.0%	-25.0%
独立行政法人等		140	30,274	139	35,949	0.7%	-15.8%
県		2,652	104,031	2,661	117,657	-0.3%	-11.6%
市町村		3,306	156,276	3,318	181,345	-0.4%	-13.8%
地方公社		51	3,069	66	2,775	-22.7%	10.6%
その他		193	14,057	211	19,513	-8.5%	-28.0%
合計		6,611	339,846	6,740	400,071	-1.9%	-15.1%



東日本建設業保証(株)茨城支店がまとめた、前払金保証実績から県内公共工事動向（県内の施工場所が対象）によりますと、平成29年度の実績は、件数が6611件で前年度比1.9%減、請負金額が3398億4600万円で15.1%の減となりました。請負金額階層別の構成比（件数ベース）をみる

と、1000万～3000万円が3.5%増加し、500万～1000万円が1.3%減、1億円以上が1.6%減となりました。

地域別の構成比（請負金額ベース）では、県央地区が2.4%増、県南地区が1.6%増。県西地区は4%減少しました。

建設業経営者研修会を開催します

建設業の健全な発展のため毎年、本会と県土木部が実施しております経営者研修会を、本年度は5月15日(火)から6月26日(火)まで県内会場で開催します。内容は24項目で、平成30年度の経営事項審査や県行政書士会からの説明などを予定しております。ぜひご参加ください。

平成30年度 建設業経営者研修会

月 日	時 間	場 所	対 象 者
5月15日(火)	13:00～16:00	つくば国際会議場 つくば市竹園 2-20-3 TEL：029-861-0001	土浦土木事務所管内の 建設業経営者
5月16日(水)	13:00～16:00	鹿嶋市勤労文化会館 鹿嶋市宮中 325-1 TEL：0299-83-5911	潮来土木事務所管内の 建設業経営者
5月22日(火)	13:00～16:00	常陸太田市民交流センター(パーティホール) 常陸太田市中城町 3210 TEL：0294-73-1234	常陸大宮土木事務所管内の 建設業経営者
5月25日(金)	13:00～16:00	筑西市立生涯学習センター(ペアーノ) 筑西市舟生 1073-21 TEL：0296-37-7803	筑西土木事務所管内の 建設業経営者
6月26日(火)	13:00～16:00	茨城県立県民文化センター 水戸市千波町東久保 697 TEL：029-241-1166	水戸土木事務所管内の 建設業経営者

研 修 内 容

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| ①県内建設業者の現況について | ⑪人権問題について |
| ②県建設業振興対策事業について | ⑫建設業からの暴力団排除について |
| ③入札契約制度の改善について | ⑬県行政書士会からのお願いについて |
| ④適正な下請契約の締結について | ⑭単品スライド条項について |
| ⑤適正な施工体制の確保について | ⑮CORINSの登録について |
| ⑥県発注工事現場からの不正軽油撲滅対策について | ⑯公共事業のIT化(建設CALS/EC)について |
| ⑦平成31・32年度県建設工事入札参加資格審査(格付)の定期受付について | ⑰建設リサイクル法について |
| ⑧平成29・30年度県建設工事入札参加資格審査申請の追加受付について | ⑱建設副産物実態調査について |
| ⑨平成29・30年度県建設工事入札参加資格審査(格付)について | ⑲リサイクル建設資材評価認定制度について |
| ⑩公共工事に係る工事請負代金債権の譲渡を活用した融資制度等について | ⑳県土木部指定工場制度について |
| | ㉑県砕石需給システムについて |
| | ㉒建設業許可について |
| | ㉓平成30年度経営事項審査について |
| | ㉔住宅瑕疵担保履行法について |

ICT土工研修のお知らせ 参加しやすい 地元での開催

本会主催による i - Construction 対応 I C T 土木研修が10月19日（金）から延べ5日間、県建設技術研修センター（水戸市）および日立建機 I C T デモサイト（ひたちなか市）で開催されます。i - Construction の全工程を学べるカリキュラムで、I C T 対応建機・U A V などの実機を用いた研修となります。受講費用は32万円(税別)。

全国土木施工管理技士会の継続教育制度（C P

D S 34 ユニット）認定候補研修になります。人材開発支援助成（受講費用の約3分の1補助から）の申請が可能です。

適切な実習時間を確保するため、定員は15人までとなっております。6月開催の第1クールはすでに受付を終了しました。ご希望の方はお早めにお申し込み下さい。詳細は業務課（電話029-221-5126）までお問い合わせ下さい。

◆概要

<p>① i - Construction 概要</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i - Construction 各工程の概要 ・ 国土交通省新基準の解説 	<p>10月19日（金）</p> <p>県建設技術研修センター</p>
<p>② 起工測量と3次元モデル設計</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UAV 等による起工測量 ・ 3次元モデル基礎 <p>【実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UAV による起工測量 ・ 3次元施工図作成 ・ 3次元点群データによる土量計算 	<p>10月24日（水）、25日（木）</p> <p>日立建機 ICT デモサイト</p>
<p>③ I C T 施工と出来形管理</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 施工概要 ・ 出来形管理と3次元データによる納品 <p>【実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 対応建機による施工 ・ 出来形測量と3次元データによる納品 ・ 出来形検査 	<p>10月31日（水）、11月1日（木）</p> <p>日立建機 ICT デモサイト</p>

全国安全週間（7月1日～7日）

6月から準備期間が始まります



ちよつと言

皇太子さまの天皇即位まで1年を切り、平成も残り少なくなりました。

昭和から平成の時代を生きる我々には、昭和天皇崩御前後の「自粛モードの蔓延」が強く記憶に残っていると思います。

T V での娯楽番組の放送中止やイベント・お祭りなどの中止。職場の忘年会も中止になりました。改元＝天皇崩御であり、改元を祝うなんてことは頭の片隅にもありませんでした。

しかし、今回は違います。来年のGWは10連休となるかもしれません。新しい元号、新しい時代に期待を寄せつつ、お祝いモードでカウントダウンしたいものです。 (1)